

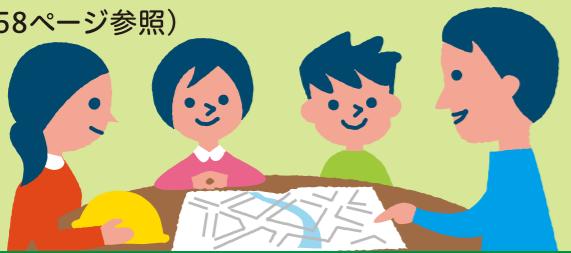
日頃の備え 自助

家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに、あわてず行動できるよう家族で普段から話し合っておきましょう。

また、災害に備えて家中と外をチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。

(58ページ参照)



非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、確認しましょう。

携帯ラジオ

- ラジオ
- 電池(多めに用意)

懐中電灯

- 懐中電灯
(できれば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

チェック

貴重品

貴重品

- 現金
- 健康保険証
- 印鑑
- 預金通帳
- 免許証
- 権利証書

救急医療品

- 常備薬
- ばんそうこう
- 鎮痛剤
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 包帯
- 傷薬

非常食品等

- 火を通さないで食べられるもの、食器など
- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 缶切り
- 紙皿
- 桜抜き

その他

- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- ウェットティッシュ
- 携帯電話の充電器
- 防災マップ(本書)
- ラップフィルム

その他

- 離乳食
- 紙おむつ
- 粉ミルク
- ライター
- タオル
- カッパ
- ヘルメット

非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるように確認しましょう。

飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど

非常食品



- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフルーツ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

ローリングストック法

非常持出品・備蓄品などで保管する非常食などを、定期的に消費し、その分をあらためて補充することで、「食べながら備蓄する」ということができます。



避難について考えましょう

避難しようと判断するのは「あなた自身」です。過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。

ハザードマップを確認しましょう!

- 危険区域の中や周辺にお住まいの人 =====> 周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。
- 危険区域の外にお住まいの人 =====> 自宅での安全確保のための備えや、周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。

避難行動 避難行動には大きく2つの考え方があります。

①

立退き避難 (水平避難)

▶安全な場所まで立退き避難



※夜間に大雨が予想される場合は、明るい時間帯に避難をすませておくことも大事です。

②

屋内安全確保 (垂直避難)

▶自宅内の高い場所へ避難



▶がけや山から離れた部屋へ避難



避難を判断するための情報(警戒レベルと防災気象情報)

防災気象情報

警戒レベル相当情報(例)

警戒レベル5相当情報

- 大雨特別警報
- 氾濫発生情報など

警戒レベル4相当情報

- 土砂災害警戒情報
- 氾濫危険情報など

警戒レベル3相当情報

- 洪水警報
- 氾濫警戒情報など

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
国土交通省、気象庁、県が発表します。

市が発令する避難情報

警戒レベル

警戒レベル 5

避難行動等

- すでに災害が発生している状況。
- 命を守るために最善の行動をとる。

避難情報等

緊急安全確保

警戒レベル 4

- 速やかに避難先へ避難する。
- 避難先への移動がかえって危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。

避難指示

危険な場所から全員避難

警戒レベル 3

- 避難に時間要する人(高齢者、障がいのある人、乳幼児など)とその支援者は速やかに避難する。
- 他の人は、避難の準備を整える。

高齢者等避難

避難に時間がかかる人は避難

警戒レベル 2

- ハザードマップなどで避難場所・避難経路・避難行動を確認する。
- 今後の気象情報に注意する。

大雨注意報

洪水注意報など

警戒レベル 1

- 今後の気象情報に注意する。

早期注意情報

(警報級の可能性)

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。警戒レベル3や警戒レベル4では、地域の皆さんで声をかけて、確実に安全な場所に避難しましょう。